

平成28年度（第2回）
 水稻病害虫発生状況調査及び生育診断圃調査の結果について

（平成28年7月22日（金）実施）

いもち病	いもち病は確認されませんでした。向こう1か月間の気象予測によると、気温は平年並又はやや高く、降水量は平年並又はやや多く、日照時間は平年並と予想されることから、発生を助長する要因は少なく平年並の発生で推移すると予想されます。
紋枯病	紋枯病の発生がわずかに見られました。今後、気温の上昇とともに進展があると考えられますが、平年並みの発生で推移すると予想されます。
ウンカ類	ツマグロヨコバイ、セジロウンカ、トビイロウンカの発生がわずかに認められました。今後の気温の上昇に伴い平年並で推移すると予想されます。
カメムシ類	カメムシ類の発生は認められませんでした。今後の気温の上昇に伴い平年並で推移すると予想されます。
その他	フタオビコヤガ（イネアオムシ）は今回の調査では認められませんでした。今後も気温の上昇に伴い、平年並で推移すると予想されます。また、市御堂ではコバネイナゴがやや多く、葉の食害も見られましたが、要防除水準以下であり、特に防除の必要はないと思われれます。
生育状況	平均草丈の前年対比は90.6%、平均茎数は87.7%です。 平均草丈 養父市 75.3cm（昨年92.3cm（参考※1）） 朝来市 89.4cm（昨年89.5cm） 平均茎数 養父市 24.5本（昨年25.7本（参考※1）） 朝来市 22.7本（昨年28.1本） ※1 昨年度と調査圃場が変更になっています。また、田植時期が6月上旬です。

（※ 詳細は普及センター、農協の営農指導員又は南但広域農業共済課職員にお問い合わせください。）

※ 次回の調査は8月8日（月）です。

【問合せ先】

南但広域行政事務組合農業共済課
 TEL 079-665-0215